

Title: 「前田さんのカルテ」



前田 明日香
友達が女の子のママになりました。もうひとりの友達も車を買いました。私は半年の間、写真を撮りに行きます。ありがとうございます。

● 最近のエントリー

- ☐ [ベタリンジャヤ 2](#)
(2006.08.26)
- ☐ [ベタリンジャヤ](#)
(2006.08.18)
- ☐ [ソウル 2](#)
(2006.08.13)
- ☐ [ソウル](#)
(2006.08.11)

● アーカイブ

- ☐ [2007年10月](#)
- ☐ [2007年07月](#)
- ☐ [2007年04月](#)
- ☐ [2007年03月](#)
- ☐ [2007年01月](#)
- ☐ [2006年12月](#)
- ☐ [2006年11月](#)
- ☐ [2006年10月](#)
- ☐ [2006年09月](#)
- ☐ [2006年08月](#)
- ☐ [2006年07月](#)
- ☐ [2006年06月](#)
- ☐ [2006年05月](#)
- ☐ [2006年04月](#)
- ☐ [2006年03月](#)

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



ASP 2.0

前田さんのカルテ > 2006年08月 アーカイブ

06.08.26

ベタリンジャヤ 2

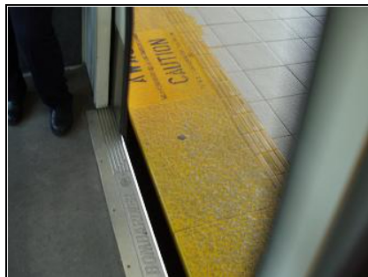
スクーリングが終わりました。



外出といえば
毎日
共同のおやつ入れを補充するために
となりのスターマートに行きました。
無一文から無銭利用のふりです。

時間がどんどん経っていくのですが
それでも屋上に座りに行きました。
私はモノクロ撮影で、
現像エリアと暗室ではいつも
ゆうちゃんがipodをかけてくれていて
これから
スピッツがかかると
暗室のこと思い出すのかなと
けいちゃんと話していました。

みんながフリー撮影に出始めた26日
ふらふらしに出ました。



もうちょっと足りない何かは
まだまだ難題だけれど
最後に冒険と思うとふるえるような感じだけど
ペタリンジャヤで最後に
スーパーマーケットジャイアントの前で気づいた月が
なめになったスマイルの口みたいでした。

category: [前田さんのカルテ](#) | [post by 前田 明日香](#) | 日時: 2006.08.26 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[前田さんのカルテ](#) > 2006年08月 アーカイブ

06.08.18

ペタリンジャヤ

2度目で覚悟していた
現像の毎日が始まりました。
相変わらず
心身ともに現像に慣れることがなくて
金属の感触に鳥肌を立て
撮影のときの
今となってはどうしようもないことを
本ガ上に発見したり
さらに取り返しのつかない失敗をやってしまったり
します。
でもやっと

後半自分が撮っていた写真を見ることができます。
ここに来るのも2度目で、
えみちゃんとけいちゃんと
KLCCに行って
日本語の紀伊国屋に入り
甘いシナボンをすわって食べ
寒い中スクリーンの映画を観
噴水を眺めるコースを巡ったのも
2度目でした。
それは2度目だけ
でも
前より時間は経っていて
そうすると
2度と同じ気持ちや状況でいられることは
ないんだと思いました。
なんて言ってもいいかわかりません。
みんなのつくってくれるごはんをいただき
体調は大じょうぶです。
ありがとうございます。

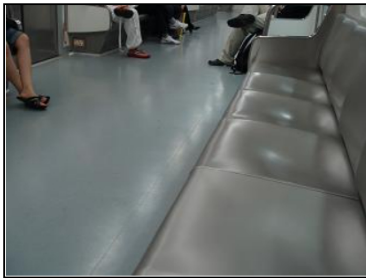
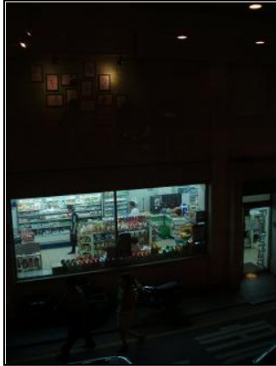
カテゴリ:

post by 前田 明日香 | 日時: 2006.08.18 | [バナーリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

前田さんのカルテ > 2006年08月 アーカイブ

06.08.13

ソウル2



今日もソウルは暑いです。

カテゴリ:

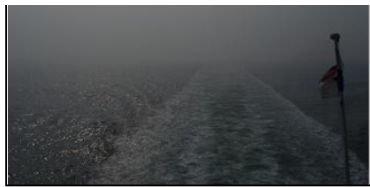
post by 前田 明日香 | 日時: 2006.08.13 | [バナーリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

前田さんのカルテ > 2006年08月 アーカイブ

06.08.11

ソウル





みんなとフェリーで
天津から
韓国仁川に1日かかりで
着き
日本との時差はなくなりました。



ハンダルの文字はまったく読めないし
赤い料理は辛いけれど
物腰がきつなくて
日本のひとや街と似たものを感じます。

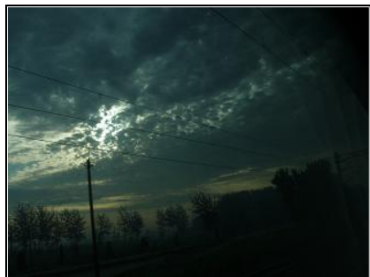
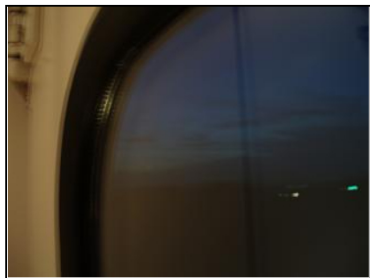
post by 前田 明日香 | 日時: 2006.08.11 | [バーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

[前田さんのカルテ](#) > 2006年08月 アーカイブ

06.08.02

北京



列車で上海から北京にきました。
北京駅に着いたのは朝7時過ぎです。
上海のときと同じように
駅のところでホテルをとってもらいました。
ささやかすぎるけれどなりゆきにも身を任せてみる手段その1です。

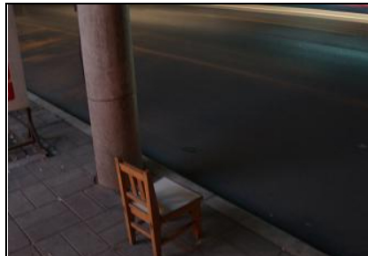
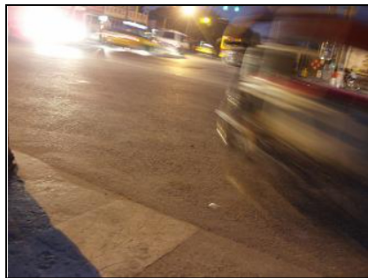


北京も広くて
インドやネパール以来久しぶりに見る
宗教に関連した服装の人もいます。
北京に限らず中国では
何かというと
文字で表すことが多いと思いますが、
それはちょっと
有無を言わせない頑固な雰囲気があると感じます。

大都会和广大乡村进行轰炸，大肆杀戮
平民，残酷虐杀战俘，强制奴役劳
工，实施细菌战和化学战，在占领区推
行奴化教育，用鸦片毒害中国人民，控
制中国的工矿、交通、农业、金融、贸
易等经济命脉，掠夺中国经济资源，给
中国人民带来深重灾难。



みんなは知っているけれど
私はあまり知らなかったり
イメージできなかったりすることが
ほんとうに多々あります。
日本やほかの国の歴史もそのひとつです。
これまで
それについてみたり読んだりしても
そんな事実があったということを
実感することができなかったような気がします。
今私たちはその中国にいます。
写真を撮っていたとき
私が日本人だとわかると
あのねえ
と言われびっくりしたことはあったけれど、
日本と戦っていた面影を
街やそこにいるひとたちに見ることは
ほとんどできないです。
上海では
日本と中国との戦争に関する映画を観て
北京では
えみちゃんと抗日戦争を記念するという博物館に行きました。
それはあとから
ひとつがっつり集めて説明したりしたのですが
本当にこんなことがあったのかと思うと
やっぱり事実とは信じがたくて気持ち悪かったです。





現地にこうして
実際来る機会を得られたとしても
そこでみたりきいたりふれたりできることは
たくさんあるものごとのうちの
ほんのちょっとだと思います。
でもそれと同時に
いろんなところに行ったり
みんなの話を聴いたりブログをみたりして
思うことは
実際そこにある
ものや街や自然や人やできごとや空気を
そこで自分で感じることは
何かを通して
みたりきいたり知ったりすると
また違うんだなあ
というあたりまえのことです。
それともうひとつ
それに気づくのに
人一倍時間のかかる自分にも
気づきました。

カテゴリ:

post by 前田 明日香 | 日時: 2006.08.02 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)